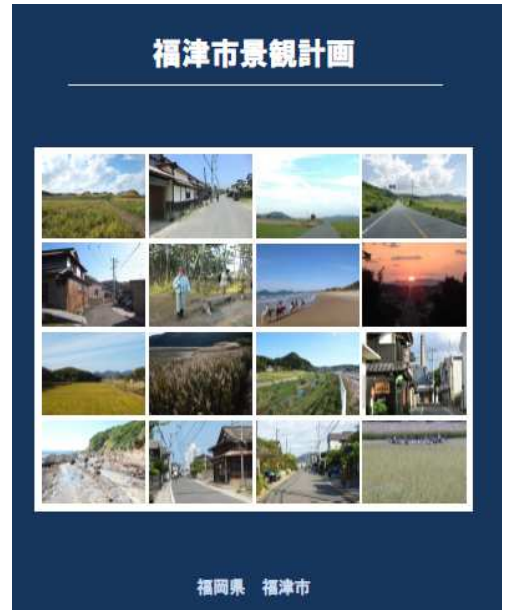
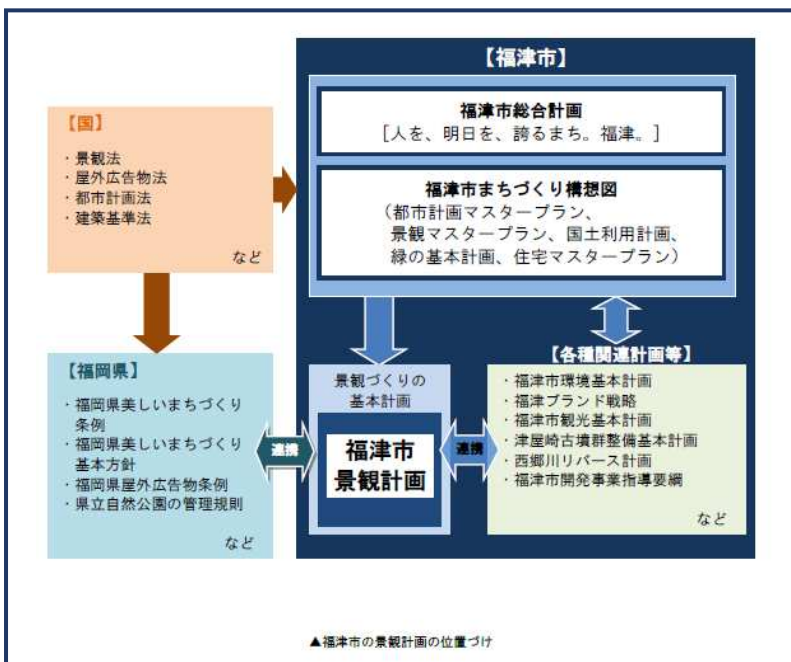


福津市景観計画について

福津市景観計画は、景観法の施行および地域住民の意向を踏まえ、福津らしい良好な景観の保全・形成を総合的かつ計画的に推進するための基本的な考え方、基本方針および景観形成基準等を明らかにし、住民・事業者・行政の共働により良好な景観形成を総合的かつ計画的に推進し、その実現を図ることを目的に定めることとします。

景観計画の位置づけ



【基本目標】
 時の流れを慈しみ
 福津の暮らしを未来へつなぐ
 景観まちづくり

福津市の景観形成方針(P.3)

福津市内のフットパスを分類し、
 景観特性ごとに10のエリアと5つのゾーン、
 2つの景観軸に再区分。
 福津市内全域に景観形成方針を設定した。

メモ
 フットパス：小径(こみち)、生活道路。
 市の主要道路は景観軸。身近な生活道路はフットパスと設定し、来訪者もフットパスを楽しめるフットパスネットワークの形成を目指す。

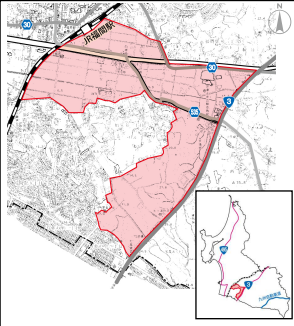
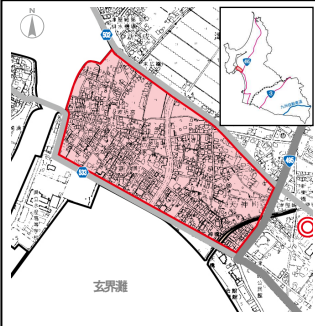
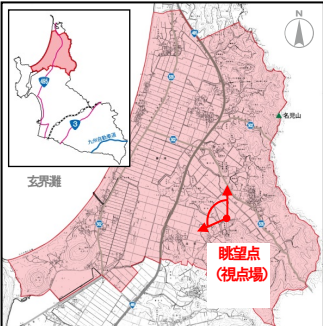
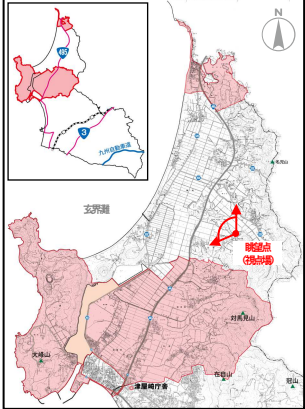


良好な景観形成のための行為の制限

市内全域区域(P.28-30)

市内全域区域
景観計画区域の全域 ※景観重点区域を除く。
届出対象 ・高さ 13 m～ ・延床 1,000 ㎡～
景観形成基準 ・周囲との調和を心がける。 ・色彩基準に適合

景観重点区域(P.31-48)

福間駅東区域	津屋崎千軒区域	新原・奴山古墳群 眺望区域1	新原・奴山古墳群 眺望区域 2
			
届出対象 ・延床 1,000 ㎡～	届出対象 ・すべての行為	届出対象 ・延床 10 ㎡～	届出対象 ・延床 150 ㎡～
景観形成基準 ・周囲との調和を心がける。 ・植栽や共有スペースを設ける等	景観形成基準 ・3 寸勾配屋根(切妻等) ・高さ 12 m以下、2 階建を基本とする。	景観形成基準 ・3 寸勾配屋根(切妻等) ・高さ 10 m以下、視点場からの眺望に配慮。	景観形成基準 ・3 寸勾配屋根(切妻等) ・高さ 13 m以下、視点場からの眺望に配慮。